

「数の集まり」に「演算」を追加

集まるだけでは面白くないので

数学では、要素が集まった**集合**を考えるのが基本

そこにたとえば足し算の**演算**を入れると、要素間
を行き来できるようになる

実数の集合を考えたとき、 $7.4 + 6.4 = 13.8$ のよう

に、二つの要素を足すことで別の要素に移れる

また、**関係性**まで考えるとさらに応用の幅が広がる

関係性の一つの例は「距離」

ベクトルや行列と同じような「集合・演算・関係

性」をもつ対象なら、その類似性を使ってベクト

ルや行列で扱える